

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

＜環境保全活動に関する方針等＞

【環境方針】

[理 念]

私たちは、地球環境の大切さを十分認識し、環境に配慮した企業活動を通して恵み豊かな地球の存続に貢献します。

[指 針]

1. 事業活動全般について、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減・再資源化及び地球温暖化物質等の排出抑制に努め、汚染の予防を推進します。
2. 事業活動の各段階で環境に配慮した商品・サービスの提供に努めます。
3. 環境に関わる法律を遵守するとともに、自主基準を設定し事業活動を行います。
4. 環境目的・目標を定め、定期的に見直すことにより、環境活動の継続的改善を図ります。
5. 環境教育を通して環境意識の向上を図り、環境活動に積極的に取り組みます。
6. 社内外に必要な環境情報を公開します。

(目標・計画等の公表の方法についても記載のこと。)

2 推進体制の整備

＜環境保全活動に関する組織体制＞

部署名	担当内容
管理本部 総務部 総務グループ	環境関連窓口
生産SCM本部 SCM部 需給グループ	特定荷主の責任
生産SCM本部 生産部 工務グループ	環境測定および届出

別紙2

3 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画 (2016年度計画)
1. 原油換算エネルギー量 原単位2010年度から 年平均1%削減する。(製 造グループ)	生産数量大幅減の状況下、製造工程改善、製造 設備更新及びLEDの導入等の省エネルギー活 動の結果、4.4%増加に抑えたが目標は未達 成。(2015年度は5.0%削減が基準) 直近5年間の年平均では1.8%増加。	1. 原油換算エネル ギー量原単位20 10年度から年平 均1%削減する。
2. エネルギー総量を2 010年度から年平均 1%削減する。(生産部 門各グループを除く全部 署)	・ノー残業デー月2回以上実施、空調機の温度設 定厳守、昼食休憩中の消灯、蛍光灯の間引き、 事務所設備の一部撤去、LED照明導入等の省 エネルギー活動を実施。 ・伊丹本社全体の原油換算したエネルギー使用 量は、2010年度比18%削減、また製造グルー プを除く部署でも2010年度比20%削減で目標 を達成した。(2014年度は15%削減が基準)	2. エネルギー総量 を2010年度か ら年平均1%削減 する。
3. 輸送方法の効率化の推 進。 ガソリンを2014年度使用 量から1%削減する。	・公共交通機関の活用、近場の自転車利用及 びエコドライブ等の地道な活動を行ったが、業 務増加に伴い2014年度比5.9%増で未達 成。引き続きエコドライブ及び業務効率化等 により、3年間で年平均1%達成を目指す。	3. 輸送方法の効率 化の推進。 ガソリンを2014年度 使用量から2%以上 削減する。
4. 廃棄物排出量を201 4年度より年1%削減す る。(製品廃棄を除く)	・原材料の適正在庫管理、期限管理による廃棄 品の削減及びファイル等事務用品の再利用等 の地道な活動を実施した結果、2014年度比1 1%削減となり、目標達成。	4. 廃棄物排出量を 2014年度より 年2%削減する。 (製品廃棄を除く)
5. 廃棄物の再資源化率9 9%。	・昨年度まで再資源化できていなかった廃ア ルカリを再資源化できたが、再資源化できな い“がれき”類を2年間分排出したため98. 3%で未達成。排出する“がれき”の中身に 注視してリサイクル率向上を目指す。	5. 廃棄物の再資源 化率99%。
6. 排水時に飲料を流さ ないなど水質汚濁防止活 動、排水規制値遵守。	・排水時に飲料を流さない等地道な取組み及び 排水処理設備の安定稼動により、今年度のCOD 値(49mg/L)については、昨年度(46mg/L)に近い 水準を維持できた。またBOD値等の規制値を超 えることは無かった。 (下水道の排水規制値、自主規制値ともに適合)	6. 排水時に飲料を 流さないなど水質 汚濁防止活動、排水 規制値遵守。

<p>7. 環境配慮型の包装資材を積極的に検討し、既存製品の改良及び新製品を開発する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルラベル5mm短縮（1品目）、段ボールケースの材質軽減化（2品目）、段ボール使用量低減（1品目）、及びペットボトルラベル材質軽減（1品目）を実施。 ・一部商品のペットボトル軽量化、顆粒製品箱寸法縮小及びペットボトルラベルの薄膜化を検討中。 	<p>7. 環境配慮型の包装資材を積極的に検討し、既存製品の改良及び新製品を開発する。</p>
<p>8. 紙使用量の削減、コピー用紙の再生紙使用率の維持・向上。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙使用量は、(2014年度は新システム導入に伴い、前年比5%増加したが、)新システム本格運用開始による使用量減、プリンター及び複合機の集約等により前年比13%削減。 ・コピー用紙の再生紙使用率は100%を達成。 	<p>8. 紙使用量の削減、コピー用紙の再生紙使用率の維持・向上。</p>
<p>9. 環境月報による活動把握及びPDCA活動の推進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ単位での環境月報報告により、活動を把握。 ・各グループ単位で本業に関する環境活動目標を設定し、PDCA活動推進を実施。 	<p>9. 環境月報による活動把握及びPDCA活動の推進。</p>
<p>10. 環境に関する教育の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内一斉教育 ・部署毎の教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ学習として、各職場で「ご家庭と職場事務所での省エネのすすめ」題材にした学習会を実施。(10～3月) ・リサイクル活動の一環として、豊中市伊丹市クリーンランドを見学。(11月) ・各グループ単位の環境教育(年度計画)の実施。(内部環境監査にて教育状況を確認。) 	<p>10. 環境に関する教育の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内一斉教育 ・部署毎の教育
<p>11. 地域社会活動への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業場周辺の清掃活動。 ・全社員による事業場周辺の清掃活動(年2回実施)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場周辺の清掃活動を実施。(週2回) ・全社員による事業場周辺の清掃活動を年2回実施。(5月、12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場周辺の清掃活動。 ・全社員による事業場周辺の清掃活動(年2回実施)。